

聖州新憲法草案

十五本會議へ上提せらる

議事いよく本格的

四月八日開會された聖州憲法議會は聯合國家の一様成分子たる自治州の根本法たる憲法審議制定するのであるが既報の如くマガソ、マガソ氏(高等法院判事)、サンハイオード、カリナ教授(公法の權威)、ブリニオ、ペレット氏(エヌード紙主筆)の合草になる憲法草案は其後憲法制定委員の手によつて殆んど全面的に修正されいよいよ第三修正委員会に入つたが新憲法草案はニッセニシテ了し去る十五日の本會議に上提された。

去る拾五日

本會議はラヨンテ・アスンソン氏議長席に就き西七十六名の議員の出席、午後二時開會を宣し議論に入つたが新憲法草案はニッセニシテ了し去る十五日の本會議に上提された。

本會議はラヨン

ス議員は争亂の経験を説明し、自

己の立場を明かにする所があつた

聖州ミナス

重大化して、サ

ンパラロ上下の議論の中心となつ

てゐるが、本會議はダイレオニ

統員の報告を種々聽取した

問題は聖州ミナスのサバカイ河を

境界とする線の州境問題で聖

州側の言分によれば、六十年前

持上嚴重なる取締を勧行この種會

合を一切廢するやう命令した

聖市議院ナツル(十六日日曜)

ホンチケランのサンメント議場

に集合してフレンチ派、各種勞

勤團體本部も集結するとの報が傳

へられてゐる都度は警戒隊

と打合せを行ひその日は一方の爲

争を採らる機会である

アルトル・ネバ、エンリケ

ドウガースの三氏である

は現知されないが仄聞するに副委

員会の調査報告を中心審議が行

はれた機会である、因に副委員會

の顧問はカルドー、ネット、

モーロン判事も起草委員に任命し

て改正案を作成中なるが、この程

大部分の起草は了へから不日將

始め北六縣知事の申請した六億

圓の東北地方農民救済の問題に

關して討議したが右は更に調査を

行ひ、其の上で態度を決定するこ

とははれる

コントスを可決した

はアムマンド州さう領空重なる

治安維持方を要請した

にピアウイ州のパラナイバ河犯

にビアウイ州のパラナイバ河犯



學藝欄

短詩

聖市 半田多蒙世

老木の幹りやうな
あの煙突の向ふに浮んでゐる雲は
ふつらとあつたかい雲だ
行儀よくなんんで
屋根の上を散歩してゐる。

作業車は
赤旗をひるがへして突進する。

ストライキの盛んな此の頃
後は奇怪な幻覺に迷はれるのだ

わざと娘たちの笑顔をさけて
ゆがんだ心に

暗い廊下の行きすりに

来る脚音を

貴女のほにのみなつかしむ。

私は貴女のほにのみがほしい。

貴女は私に無縫の人

私は気まゝな生活者

つかれた時のさびしさに

貴女のほにのみなつかしむ。

私がこれ位の見きはめにくい煙が

あらふか?

走る汽車の

きらりく異質!

新移民

アリシア 上野 紅陽

五月末日をもつて結婚した。本社第三回懸賞文藝作品への應

募は主張を絶する大数で、編輯部同人の審査に時日

不足を來し、ために既定の中旬發表を延べ、來月二十六日の

本欄に於いて發表することになりました。御諒承を願ひます

マリエラ 上野 紅陽

五月末日をもつて結婚した。本社第三回懸賞文藝作品への應

募は主張を絶する大数で、編輯部同人の審査に時日

不足を來し、ために既定の中旬發表を延べ、來月二十六日の

本欄に於いて發表することになりました。御諒承を願ひます

ラランシャの下で

朝から寝ちまで

小鳥を歌ひねづいた

幼い日がなつかしい。

音ちの故郷は

懸いものよ

ほろほこガババの花散る日

もうお別れの何時達へるの

手の手をつて泣いた友

今日も耳にきこて

遠い故郷がなつかしい。

幼い日がなつかしい。

音ちの故郷は

懸いものよ

馬のいき

フーモロド

見ゆやした……。

今朝の出資した

馬のいき

フーモロド

見ゆやした……。

朝寒む小寒む

全世界に寄せる

教材「新日本」

文壇詩壇の権威を網羅

國際文化振興會で編纂

正しき日本を知り日本人の生活を知らうとする要求が最近各國に澎湃として起つてゐるがこれが

第一に達するに至るにはあるが日本人の生活様相を深く掘下げるものがない遺憾と國際文

化振興會では昭和十一年度最大事業として數萬圓を投じ日本に關するスタイル。テキスト(教材)

を編纂することとなり第一回編纂委員會を開いた。

委員は正宗白鳥、島谷知是、

谷川龍三、師崎正治、前田多門、

伊能、鐵山政道、黒田清の諸氏

でテキストは地理、人口、資源、

社会、宗教、家庭、學術、音楽等

で各方面の

を擧げて執筆者を

第一人者

決定し、これな太

平洋問題調査

ソ聯邦空軍の

親王並行機(飛行場所)

協会も

協力し

英譯

版二

五六

一八一

一九五

捨身の大苦行

寂教最深の秘法

寂教の生佛玄順阿闍梨

大古寺の涅槃山、比叡山延暦寺の

僧都の苦行三千六百日に入寺

が認められる大江江野支

順大開拓はさきに崖壁の難

行かつけること三千日までに三

度の自溺、千手の苦行、

▽還暦△度さまに密教最深の

老齢にかゝらずす今

▽還暦△度さまに密教最深の

老齢にかゝらずす今

發行するが單に教師の虎

用こし

の教師

の虎

の虎

を決意したうへ、昨年前備六百圓

を支拂つてやなさんを落籍したの

の虎

の虎

の虎

の虎

を決意したうへ、昨年前備六百圓

を支拂つてやなさんを落籍したの

の虎

の虎

の虎

を決意したうへ、昨年前

讀者の待望成る

圭草氏の斡旋で
本紙に併壇新設

奮起した念腹、佐藤氏

讀むてから本編に併墳を設けられたい云ふ讀者からの要望切なるものがあり、殊に上場の草薙は、これが實現を度々しやう述され、佐藤金蔵氏を擧げて其驕起を促されてゐたが、僕は経済優良として來伯した關主草兵は、知名のホトトギス派の巨星で、今度來伯されるにはわが母國の併墳を擧げて、併命優良としての使命もあつたので、是日使節關解の發來被されるや直ちに併命節としての使命を果するべも出発した佐藤金蔵氏と會見しがわが句友の言付を得てゐたが、主草兵は此の話をフト耳にされ、けんそんする金蔵氏に驕起をされ、是非日本併墳のために活動せらるんことを求め金蔵氏もこれに動され、茲に本紙併墳は一萬讀者の待望と共に輝やかしい誕生となることとなつた。(専併墳新説に當つての)草兵の言葉は次に

聽衆堂に満ち感激

十七 日夜使節講演會

本戦前號に報導の如く去る十七日
夜は定通りサンバクロ魔境のイタ
リア・グラードにて使節演説會が開
催されたが、此の夜使節團の聲を
聞くべく、郊外より駆々走いた多
數の聽衆に熱心な女性もあだな色
彩も織り混ざて定刻には滿場は
錐の餘地もなく盛大を極めた
定刻平生歎長を先頭に岩井、關使
節、山口昌博、市毛總領事、武田

使節一行
明日下棧
廿一日南大河州

代償問題を清算
古關副領事朗か
卅二件中未済分は四件
徵力ミニヨン
去る十五日総領事館に古關副領事な防へば机に書類を取上げて中々忙じうだ、無器用な手で一生懸命算盤などを組んで算盤代償金の始末はどうやら決まりたがる。されば大體整理済みで残り二件だけ終ひサへば事は差し支えぬ。さうしてたゞ古關氏もさぞなく期がさう、ペレンの夢でも見てゐるのだらふそこで菱川氏へ質問するるゝ、外務省へ送つた書類を擲げ乍ら次の如く語つた。

領事報じ申五件の中申三件を

託しに委任して居るから之を分して其の不足額一コント給付後で持參することになつて尾張の委任者をしてそれもその旨手紙を出しているから領事館として一切清算される理だ

茲に記者は事件の発端を爲す古關氏の委任状に就いて突込みば事件の當初からすつかり調査したが領事館はサンパイヤへ何

記者招聘
本社編輯部記者招聘に付き自信ある方は履歴書持參本人來談あり度し
昭和拾年六月十九日
伯刺西爾時報社

大正元年四月二日付
女給さん二、三名屋敷
電話二二一七七二二
新規事務局
五家集会
並梅作ヨロノ
拾五家族募集
希望者は直接面談又ハ通
信ニア問合セフフレタ
アバヒ
養蠶組合
郵函貳拾番

◆消毒施肥料のととなりました
弊社では特選品をお安く販賣致します
から日本人諸君の御
命をお顧致します
◆ヴエルデ・パリス
◆亞硫酸鹽 ◆硫酸鹽
◆噴霧器 ◆チリ硝石
他化學混合肥料一切
Arthur Vianna & Co., Ltd.
R. S. Bento, 14 S. Paulista

時報俳壇

同人會理事長
菱川副領事

じた方の過失で領事館としては
責任ない筈だ某新聞の書いた様
なことはあり得ない

特別入國の案を議會に持ち出され、總領事館で、早速、マント。カルソの研究が始まった。次に來たものはそれゴーナス研究か、此の上に據つて北方アーマンから蘇る。

セねば本當と思へぬ
及入植本年棉收三アルケールで九〇〇
バス數コントスを上げて居ります

**FAZ. TRES BARRAS
KAITO USSUI**
Postal, "T. B.". Est. Jatai - PARANA'

